

# 学年別到達目標

|              |  |  |   |
|--------------|--|--|---|
| 教育目標         | 1. 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う | 2. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う    | 3. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う                  |
| 1年次          | 生命の大切さと尊さについて理解できる                                       | 生命倫理に関わる問題を知る                              | 看護に必要な基礎知識、技術を学び、看護への関心をもつことができる                  |
|              | 人に関心を持ち他者との関わりの中で、自己理解・他者理解に努め、人間の共通性・個別性を理解できる          | 社会人として様々な場での良識やマナーの必要性が理解できる               | 原理原則に基づき、安全・安楽な看護技術を習得できる                         |
|              | 人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として、理解することができる                    | 専門職としての倫理（看護倫理）を知り、関心を持つことができる             | 看護過程の基礎を理解することができる                                |
|              |  | 看護とは何かを考える姿勢を身につける                         | 医療安全の必要性が理解できる                                    |
| 2年次          | 生命の尊厳、人権の尊重に基づいた判断ができる                                   | 自己と他者に対して責任を持ち、行動することができる                  | 原理原則を踏まえて個別性に応じた看護実践について考えることができる                 |
|              | 人間を身体的、精神的、社会的側面から理解し、その人らしい生活を支えるための看護について考えることができる     | 専門職としての倫理的配慮について理解することができる                 | 科学的根拠に基づき基礎的な看護過程の展開ができる                          |
|              | 患者の健康レベルに応じた看護について考えることができる                              | 生命倫理に関わる問題について意見を交わすことができる                 |   |
| 3年次          | 他者との相互関係の中で、相手の気持ちを理解し尊重することができる                         | 他者との関係から自己を見つめ直すことができる                     | 各知識を統合しながら、看護の基礎から応用へと看護展開ができる                    |
|              | 看護の倫理問題に気付き、倫理に基づいた行動がとれる                                | 他者理解を深め、誠実・協調ある態度をとることができる                 | 原理原則に基づきながら、対象に応じた看護技術の実践ができる                     |
|              | 人間は、信念・価値観など個々に有する存在として理解できる                             | 専門職者として倫理的配慮の基づいた行動がとれる                    |   |
|              | その人らしい生活を支えるための看護実践ができる                                  | 対象や家族のニーズに合わせた看護実践ができる                     |   |
| 卒業時に期待される学生像 | 生命の尊厳、人権の尊重に基づいた看護実践ができる                                 | 他者との関係から自己を見つめ直し、看護師としての倫理的判断に基づいた看護実践ができる | 対象の個別性を捉え、科学的根拠に基づいた判断力、問題解決能力、看護実践能力を身につけることができる |
|              | 他者との良好な人間関係を築くことができる                                     |  |   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 4. 健康の保持・増進・疾病の予防、<br>健康の回復に関わる看護を<br>健康の状態やその変化に応じて<br>実践する基礎的能力を養う。 | 5. 保健医療福祉システムにおける<br>自らの役割及び他職種の役割を<br>理解し、他職種と連携・協働<br>する基礎的能力を養う | 6. 専門職としての最新知識・技術<br>を自ら学び続ける基礎的能力<br>を養う     |
| 生命の大切さと尊さについて理解できる  | 学生生活を通じてリーダーシップ、メンバーシップを身に付ける                                      | 看護に必要な基礎知識・技術を学び、看護を自主的に学ぶ姿勢を身に付ける            |
| 人と人との関わりの中で、自己の存在を理解することができる  | 保健・医療・福祉に関する基礎や役割を知る   | 看護に関心を持ち、どのような看護師になりたいか、表現することができる            |
| 人間を身体的、精神的、社会的側面から理解することができる  | チーム医療に関心を持つ  | 自己の行動に責任を持つことができる                             |
| 対象の成長発達段階、健康の段階について知り、対象を生活者として捉えることができる                              | 対象を取り巻く環境について理解することができる  |   |
| 生命の尊厳、人権の尊重に基づいた判断ができる  | チーム医療の一員としてリーダーシップ・メンバーシップの必要性・役割を理解する                             | 自己の課題を見出し、問題意識を持ち、主体的に学習できる                   |
| 他者の個性や価値観を認めることができる   | 保健・医療・福祉の領域を広い視野で捉え、さまざまな社会的資源について知る                               | 看護が専門職であることの意識を持つ                             |
| その人らしい生活を支えるための看護について考えることができる  |  | 看護を学ぶ者として責任ある行動することができる                       |
| 対象の成長・発達段階、健康の段階について理解することができる  |  | 社会情勢に関心を持ち続け、社会が看護師に求める役割を考えることができる           |
| 患者の健康レベルに応じた看護について考えることができる   |  |   |
| 自己の死生観・人間観を持つことができる   | 他職種との連携の中で社会的資源を活用した看護を考えることができる                                   | 探究心を持って、学習・研究に取り組むことができる                      |
| 他者との相互関係の中で、相手の気持ちを理解し尊重することができる                                      | 対象が自分らしく生活するために必要な社会資源について知ることができる                                 | 自分が行ったことに対する自己評価を行い、自己の課題を明確にし、主体的に行動することができる |
| 看護の倫理問題に気付き、倫理に基づいた行動がとれる   | 社会的資源を活用した看護について考えることができる  | 看護の専門職として自覚を持ち行動することができる                      |
| 人間は、信念・価値観など個々に有する存在として理解できる  |  | 自己の看護観を表現できる                                  |
| その人らしい生活を支えるための看護実践ができる   |  | 社会が看護師に求める役割を理解し深めることができる                     |
| あらゆる健康状態にある人に対して、その人に応じた看護実践ができる基礎的能力を身につける                           | 保健医療福祉との連携協働から、医療チームの一員としての役割を理解することができる                           | 看護専門職者としての自覚を持ち、主体的に継続学習する姿勢を持つことができる         |
|   |  | 自己の看護観を確立することができる                             |